

(別紙3)

強度行動障がい者支援者養成研修 実践編 講師一覧

講師名	所 属	専門分野	略歴・業績等
佐藤 貴志	共同生活援助事業やすらぎ 所長	強度行動障がいの人たちの地域支援。	知的障がい合併型の自閉症スペクトラム症と二次障がいとしての強度行動障がい等の極めて困難な事例等の支援に対する専門的な知識と経験を有する。また、障がいの重たい人たちを地域で支えるための方策や仕組みづくり等に係る研修講師を全国各地で務めている。
中野 喜恵	SPT		知的発達症重度の自閉症から知的機能の正常範囲の自閉症、触法障がい者の相談支援から直接支援まで幅広く対応する実践家。二次的・三次的にこじれた極めて困難な行動・行為障がいに対して障がいの特性や本質的な要因を分析して適切に対応する高い技術をもつ。国の行動援護従事者養成研修の講師を務めている。
石山 玲子	児童発達支援センター さんりんしゃ 所長	自閉症スペクトラム症の子ども達の療育と教育的支援。	元特別支援学校教員。特に自閉症スペクトラム障がいの子どもの教育、療育支援を専門とし、保育園・幼稚園・小学校等の保育・療育・教育機関へのコンサルテーション及び研修講師として活躍。また家族支援を重視し子どもを中心にしながらトータルケアという視点で専門的な相談や支援を展開している。
西尾 大輔	札幌市自閉症・発達障害支援センター 所長	自閉症スペクトラム症の子ども達の療育と教育的支援。	元特別支援学校教員。発達心理学及び自閉症スペクトラム障がいについて専門的に学びを積み重ねるとともに、現職業務を通じて、福祉・教育・労働・医療等の様々な機関へのコンサルテーションや専門職向けの研修講師を務める等北海道の発達障がい領域を牽引する活躍をしている。
本郷 和章	共同生活援助事業あしり 業務課長	強度行動障がいの人たちの地域支援。	施設入所支援において強度行動障がいを有する人たちへの生命に関わる極めて緊張の高い支援現場を経験。その後、彼らの地域への移行及び定着支援に関わり実績を積み重ねる。現在、支援者を養成する部門で研修コーディネーターや講師を務める。
真鍋 龍司	共同生活援助事業所あしり 所長	強度行動障がいの人たちを中心とした困難ケースへの支援全般	日本の強度行動障がい児者支援の初期の頃より関わりをもつ。自閉症特化型の支援実践を通じて二次障がいを抱える自閉症の療育及び教育に有効性を示し影響を与えた。平成7年～10年強度行動障がい調査研究(厚生労働省委託研究)に関わる。北海道の発達障がい者支援センターを立ちあげ、札幌市自閉症者自立支援センター所長時代多くの強度行動障がい者を地域移行させた実績をもつ。本指定事業コーディネーター。
竹田 憲人	生活事業所レラ・もうらい 課長	知的発達症、自閉症スペクトラム障がいの地域支援	施設入所支援及びグループホームの支援員を通じて、二次障がいとしての行動障がいを抱える人たちに長く現場で関わってきた経験をもつ。直接支援を担当する職員員の心理精神的なケアや業務の効率的な運用の方法等、シビアな現場で働いてきたからこそ働く人たちの環境づくりの工夫に優れている。
中村 修一	厚田はまなす園 所長	強度行動障がいを抱える人の支援	長く施設入所支援に関わる。その対象者の多くが二次障がいとしての強い行動障がいを抱え、困難ケースとして地域でも対応に苦慮するような人に対して、専門家を招集しながらネットワークを駆使して解決に挑む等のストラテジーに優れている。
真野 禎之	生活介護事業所ポロレ 所長	知的発達症、自閉症スペクトラム障がいの地域支援	知的発達症重度を合併する自閉症の人の施設入所支援の現場に長く務めた。その多くの人たちが強度行動障がいや精神病症状を抱え、長期に渡って社会的入院を余儀なくされてきた人たちで医療との密接な連携や関係機関とのネットワーク構築が求められる実践
佐々木 綾香	共同生活援助事業所あしり 課長	強度行動障がいの人たちの地域支援	強度行動障がいを抱える人たちを24時間365日支える全国でも例のない困難性の高い人たちで構成される施設入所施設に長く勤めた。直接支援を通じて女性の視点で様々なケースに対して向き合いながら地域での暮らしに向けての移行支援と定着支援の実践を続ける。
能登 克則	生活介護事業所ほしのみ 所長	知的発達症、自閉症スペクトラム障がいの日中活動保証	青年成人期の知的発達症を合併する自閉症の人たちの日中支援の現場に長く関わりながら地域で暮らす行動障がいを抱える人たちの暮らしの場であるグループホームを支えるためのしくみづくりを日中活動の場を拠点化し